

沿岸さば漁況予報（確定報）

～ 2017年の相模湾～東京湾のマサバ漁況について ～

■ 2017年漁期の見込み

（1）来遊量と漁獲量

前年を上回り、平年並

（2）魚体

尾叉長 29～32cm（体重 280～390g）が主体となる



■ 予測の根拠

（1）来遊量と漁獲量

本予報では、① 当年5月の伊豆半島東岸定置網のマサバ漁獲量（平年を下回りました）、② 当年6月の伊豆大島周辺の塩分（平年並でした）、③ 当年8月の東京湾の水温（平年並でした）のデータを用いて、さば釣り漁船1日1隻あたりのマサバ漁獲量を推定しました（6月発行の「速報」では、①～②を用いて解析した暫定値でしたが、今回の「確定報」では、③を追加した確定値となっています）。その結果、今シーズンの漁獲量（1日1隻あたり）は、前年を上回り*、平年*並と見込まれました（6月発行の「速報」からの変更はありません）。

*前年比 20%以上増は「上回る」、前年比±20%の範囲内は「前年並」、20%以上減は「下回る」と表記し、「平年」は過去17年間（2000～2016年）の平均値を示しています。

（2）魚体

3～6月に伊豆諸島周辺で産卵を行ったマサバの一部は相模湾～東京湾に来遊し、5月以降に本県沿岸で漁獲されます。1～4月に県漁業調査指導船「江の島丸」が伊豆諸島周辺で行った調査で尾叉長 29～32cm（体重 280～390g）主体に漁獲されたことや、現在、相模湾の定置網で同サイズが多く漁獲されていることから、今シーズンはこのサイズのマサバが多く来遊する見込みです。

神奈川県水産技術センター

〒238-0234 神奈川県三浦市三崎町城ヶ島養老子

電話 046-882-2313 ファックス 046-881-7903

公式ウェブサイト <http://www.pref.kanagawa.jp/div/1730/>